

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 24日

福井県知事 殿

提出者

住所 三方郡美浜町久々子36号12番地2

氏名 武田建設株式会社
代表取締役 武田利彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0770-32-1313

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	武田建設株式会社
--------	----------

事業場の所在地	三方郡美浜町久々子36号12番地2
---------	-------------------

計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06 (総合工事業)
--------	-------------

②事業の規模	624,961千円
--------	-----------

③従業員数	32人
-------	-----

④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり
-----------------	---------

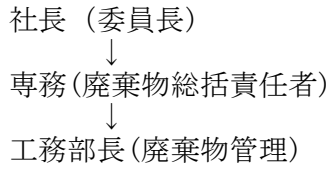
(日本産業規格 A列4番)

別紙①

<p>④産業廃棄物の一連の処理の工程</p>	<p>○アスファルト殻 中間処理業者へ委託（再生アスコンとして再資源化）</p> <p>○コンクリート殻 中間処理業者へ委託（再生路盤材として再資源化）</p> <p>○ガラス陶磁器くず 中間処理業者へ委託 （選別後最終処分業者にて安定型埋立）</p> <p>○木くず 中間処理業者へ委託（木質チップ、再生原料他として再資源化）</p> <p>○廃プラスチック 中間処理業者へ委託 （選別後再資源化又は最終処分業者にて安定型・管理型埋立）</p> <p>○管理型混合廃棄物 中間処理業者へ委託 （選別、破碎後再資源化又は最終処分業者にて管理型埋立）</p> <p>○安定型混合廃棄物 中間処理業者へ委託 （選別、破碎後再資源化又は最終処分業者にて安定型埋立）</p>
------------------------	---

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスファルト殻、コンクリート殻、木くず等種類ごとに分けてダンプトラックで 中間処理業者に搬入する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類ごとに分けてダンプトラックに積込み、中間処理業者 に搬入する。

別紙②

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度（令和5年度）実績 】										
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻	その他がれき	石綿含有物	木くず	繊維くず	廃プラスチック	金属くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	排出量	1780.52	851.68	0.5	0.01	69.79	2.34	1.45	1.08	12.7	8.8
	(これまでに実施した取組) 作業工法の検討										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻	その他がれき	石綿含有物	木くず	繊維くず	廃プラスチック	金属くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物
	排出量	1730	820	0.3	0.01	68	2.2	1.3	1.0	12.5	8.5
	(今後実施する予定の取組) 今後も減量化に向けて工法の検討を実施										

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(これまでに実施した取組) _____			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
(今後実施する予定の取組) _____			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙③のとおり
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		

別紙③

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度 実績）】											
産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻	その他がれき	石綿含有物	木くず	繊維くず	廃プラスチック	金属くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	
①現状	全処理委託量	1780.52	851.68	0.5	0.01	69.79	2.34	1.45	1.08	12.7	8.8
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0.01	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	1780.52	851.68	0.5	0	69.79	2.34	1.45	1.08	12.7	8.8
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>再生利用業者や優良認定処理業者に処理を委託し、マニフェスト交付義務等の法令を遵守します。</p>											
【目標】											
産業廃棄物の種類	アスファルト殻	コンクリート殻	その他がれき	石綿含有物	木くず	繊維くず	廃プラスチック	金属くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	
②計画	全処理委託量	1730	820	0.3	0.01	68	2.2	1.3	1.0	12.5	8.5
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0.01	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	1730	820	0.3	0	68	2.2	1.3	1.0	12.5	8.5
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>優良な処理業者を選定し、処理を委託します。</p>											

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。